

高等部だより

だいち

根をはって・・・
限りなく広がる大地に
ワン

2018.3.1 (木) 第12号
福島県立会津支援学校高等部
TEL 0242-32-2242

文責 高等部



高等部卒業式3/5間近!



△卒業式当日の日程△

通常登校	～8:30
朝のHR・準備	8:30
廊下整列完了	9:20
式開始(入場)	9:30
式終了(退場)	10:45
写真撮影	10:45
最後のHR	10:55
在校生見送り	11:35～
在校生下校	通常日課



『友 今君が 見上げる空は・・・』で始まります。



『確かな答なんて何一つない旅さ 心揺れるときも そばで支えてくれる声が 気づけばいつも そばに 友・・・』と中盤へつなぐ。

そして、『同じ 空の下 どこかで 僕たちはいつも つながっている』と結んでいます。

これは、卒業生の式歌「友 旅立ちの時」の一節です。ご存じの通りフォークソング歌手「ゆず」の代表的なこの歌を、生徒たちが話し合っ

て式歌に決め、そして卒業生46名の声で歌いあげます。私たちの生活

や生き方に通ずるものがあるように思いますがいかがでしょうか。
今年は、例年より寒い冬でしたが、この頃は秀峰磐梯の頂がくっきりと見えるようになり、生徒の旅立ちを応援するかのように春がそこまでやってきたことを感じます。そしてここに、卒業を間近にして名残惜しい学校生活や式の練習に励む3年生たちの姿があります。

46名の卒業生。友と歩いた登下校の道々、思い出深い校舎の隅々、励ましてくれた先生方の声、支えてくれた家族・園の方々の顔・顔・顔。一人一人それぞれの思いを巡らせて、どのような気持ちでいるのでしょうか。生徒たちの表情は、日に日に引き締まってきているように見えます・・・。

今日、来る「卒業証書授与式」の3月5日まで、あと4日となりました。

心を込めて・・・「歌った」「踊った」「鳴らした」「笑った」
そして・・・「泣いた・・・」 卒業生を送る会！！
先輩！ご卒業 おめでとうございます！



2年生からのクイズ・メッセージ・歌・ダンス



卒業生からあいさつや歌のプレゼント



1年生からのダンスや歌のパフォーマンス

校外作業学習製品販売会！

～ヨークベニマル一箕店にて～



今年の新たな試みとして、校外での作業学習の製品販売会を計画しました。木工製品、陶芸製品、手工芸製品、紙すき製品の展示販売を行い、各作業班代表の生徒たちの元気な声がスーパーに響き渡りました。多くの製品を、地域の大勢のお客様に手にとってみていただき、ほぼ完売に近い295点、約計87,000円のご購入をいただきました。本当にありがとうございました。売り上げだけではなく、地域の方々に、本校の生徒たちの学習や活動の様子を間近にみていただけたことが意義深いことと考えます。これが本校のより良い伝統につながっていけばと思います。

御協力いただいたヨークベニマル一箕店様には、心から感謝申し上げます。

生徒会新役員決まる！

当選者

生徒会長 本田拓海さん(2年)
副会長 本間涼介さん(2年)
鈴木 護さん(1年)
書記 小林歩叶さん(1年)
小林ゆうさん(1年)

主権者教育の一環として大切な生徒会役員選挙を実施し、2/6日に神田校長より任命証をいただきました。先輩から引き継いだ生徒会活動に一生懸命取り組み、自分たちの学校をさらに盛り上げていってくれるものと期待しています。

自分の考えが、よりよい改善へ！



立候補者の演説・応援



誰を選ぶか、投票行動



第62回福島県書き初め展結果

学校全体で77名の応募がありました。高等部は30名の応募があり、昨年から見ると10名以上多い応募でした。

その結果は、次のとおりです。

特選5編 金賞11編 銀賞14編。

なお、「早春の光」「輝く星座」「宇宙の旅」の題で特選をいただきました。各書は教室や廊下等に掲示してありますので、生徒一人一人の「らしさ」のあふれた筆運びをご覧ください。

個別懇談はいかがでしたか？

保護者の皆様、個別懇談では、生徒さんの評価や学校生活状況、さらに進路状況やお困りの事の相談等々、今年のまとめと課題、来年度への目標について話し合えましたか。

何か疑問や不安、相談があれば、ご遠慮なく「いつでも」「どのような事でも」お話し頂ければと思います。生徒・保護者の皆様と一緒に解決に向けて努力していきたいと考えております。

生徒たちは、保護者の皆様と学校・地域が、真にしっかり手を組み合って育てていくものと考えますので、今後ともよろしくお願いします。

漢字検定に合格しました！

本校を会場として行われた今年度2回目の漢字検定試験の結果が発表されました。

1月18日に実施した本検定には、中学部生を含む30名が挑戦し、18名が合格しました。

受験にあたって、それぞれの生徒が教師と共に進み具合を確認しながら、計画的に家庭学習を続けてきたことと思います。その成果が、6割の合格率につながりました。

検定試験に挑戦することは「勉強することの面白さ」だけでなく、「自分の努力が実感を伴って評価されることの喜び」にもつながり、それは、生徒の自己肯定感を育むことにもつながっていくのではないのでしょうか。よい結果だった生徒も、そうでなかった生徒も、今回の経験が次なる成長に結びつくよう、期待しています。なお、来年度の1回目の漢字検定試験は6月頃に実施予定です。

～「会津の三泣きと生徒たち」～



ワン

四方を山に囲まれた会津は、昔から独自の生活文化と「ならぬことはなりませぬ」という、かたくなな風情をもっています。このような風土に育った昔からの生活文化の一つに、「会津の三泣き」があります。ご存じかと思いますが、簡単に説明しますと、『初めて会津に赴任(来た時)した人は、よそ者に対する会津人のとっつきにくさにもまず一泣きします。やがて会津での生活になれてくると、温かな心に二泣きするのです。そして会津を去るときには、情の深さに心を打たれ、離れがたくて三度目の涙を流す』といいます。これが「会津の三泣き」です。

この時期・・・私たち教師には、生徒との出会いを思い起こす時「三泣き」では足りないほどの多くの「泣き」があるのではないのでしょうか。ましてや、卒業を控え学校を巣立つ生徒たちを前にした卒業担任・担当は、これに似た感情が入り乱れているのではないかと思うのです。

みなさん、この1～3年間はいかがだったでしょうか。卒業生も在校生も、家族であるいは一人ですっきりと振り返ってみるのもいいかもしれません。どのような「三泣き」になりますか・・・

今、3年生46名は、実社会という緊張感高まる世界へ、卒業という出口から一歩力強く踏み出します。会津弁で言えば、『にっしゃ・・・いっちょまえになえよ』と、心からエールを送りたいと思います。(T.Y)